

スプリックス基礎学力研究所：世界 11 カ国 22,000 名の子ども・保護者に学習調査を実施

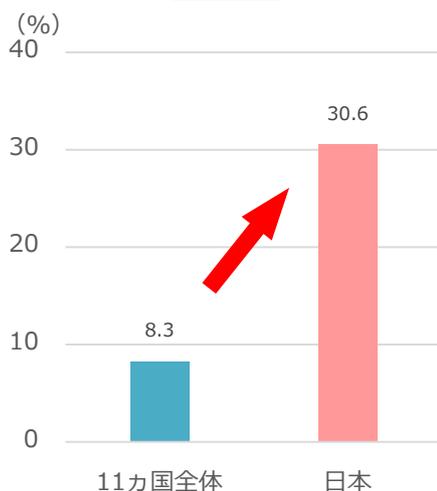
日本の子どもの約 3 割はなりたい職業がない・決まっていない！

**世界では IT 関連の関心が高いが、日本では未来を見据えた教育の必要性が浮き彫りに
日本は勉強をおもしろいと思う割合が 11 カ国中最下位で、得意な科目がない割合は 1 位**

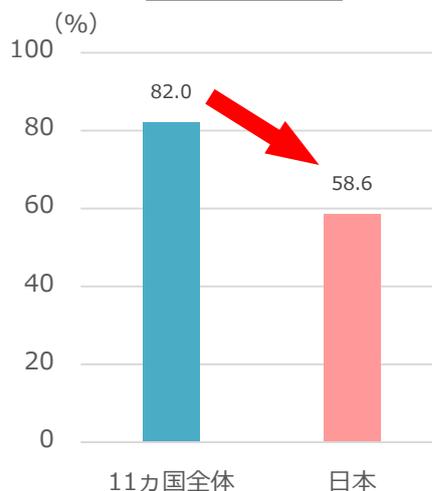
株式会社スプリックス（本部：東京都豊島区／代表取締役社長：常石博之）が運営するスプリックス基礎学力研究所は、グローバルにおける日本の教育実態を把握すべく、世界 11 カ国において子ども・保護者を対象に学習に関する「意識調査」、および基礎学力を測る「学力調査」を実施いたしました。各国 1,000 名ずつ、合計 22,000 名の子ども・保護者へのリサーチ結果から得られたデータを全 4 回にわたり公表しています。さらに、スプリックス基礎学力研究所公式 Twitter（@SprixBasri）、公式 Facebook にて、一部の調査結果に加え、補足データや最新情報も併せて掲載しております。

今回は調査の番外編として、子どもの勉強の捉え方や習い事、なりたい職業について発表します。これまでの調査では基礎学力や教育のデジタル化に関して、日本の課題が浮き彫りになってきましたが、今回の調査では子どもの学外での学びの現状と共に、子どもの勉強や将来に対する不安が明らかになりました。

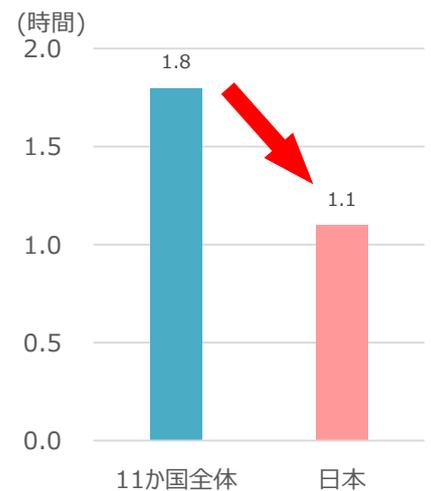
子どもが、なりたい職業はない・決まっていないと答えた割合



子どもが、学校の勉強をおもしろいと思う割合



子どもの学外での学習時間



★調査結果ピックアップ★

- ①日本の子どものなりたい職業の上位に YouTuber が入り、ポーランド、アメリカ、タイでも人気の職業に一方でなりたい職業がないと答えた日本の子どもは約 3 割で 11 カ国中最も高い
- ②日本の子どもが勉強をおもしろいと思っているのは約 6 割未満で、11 カ国中最下位
テストを好きではない理由として「結果が悪いから」が 11 カ国中最も多く、自己肯定感の低さが明らかに
- ③得意科目が一つもないと答えた日本の子どもの割合が、11 カ国中最も高い
さらに学校外での学習時間は平均 1.1 時間で、11 カ国中最下位に

※本リリースに関する内容をご掲載の際は、必ず「スプリックス基礎学力研究所調べ」と明記してください。

News Release

①日本の子どものなりたい職業の上位に YouTuber が入り、ポーランド、アメリカ、タイでも人気の職業に

一方でなりたい職業がないと答えた日本の子どもは約 3 割で 11 カ国中最も高い

日本の子どものなりたい職業では、「スポーツ選手」が最も高く、「医者・看護師」、「YouTuber」「ゲームクリエイター」と続きました。「YouTuber」は日本以外にもタイ、マレーシア、ポーランド、アメリカ、でも上位にあがっており、動画配信サービスの活性化により世界的にも人気が高い次世代の職業と言えます。また、BATH やユニコーン企業で注目される中国、インドでは、「技術者・エンジニア」などのテクノロジーを担っていく職業が注目されており、一方 GAFA などの企業の印象の強いアメリカでは「コンピュータープログラマー」が上位に食い込んでいます。どちらの職業においても、日本はなりたい職業ベスト 5 に入っておらず、職業への憧れに対する差があることも伺えます。

子どものなりたい職業

11カ国全体

1位 医者・看護師	3位 学校の先生
2位 技術者・エンジニア	4位 コンピュータープログラマー
	5位 YouTuber

日本

1位 スポーツ選手	3位 YouTuber
2位 医者・看護師	4位 ゲームクリエイター
	5位 ファッションデザイナー

中国

1位 技術者・エンジニア
2位 学者・研究者・科学者
3位 建築家・設計士

インド

1位 コンピュータープログラマー
2位 医者・看護師
3位 技術者・エンジニア

インドネシア

1位 医者・看護師
2位 社長・経営者
3位 学校の先生

タイ

1位 医者・看護師
2位 公務員
3位 コンピュータープログラマー

マレーシア

1位 医者・看護師
2位 学校の先生
3位 YouTuber

ミャンマー

1位 YouTuber
2位 学校の先生
3位 技術者・エンジニア

アメリカ

1位 医者・看護師
2位 コンピュータープログラマー
3位 獣医師

ポーランド

1位 YouTuber
2位 獣医師
3位 コンピュータープログラマー

フランス

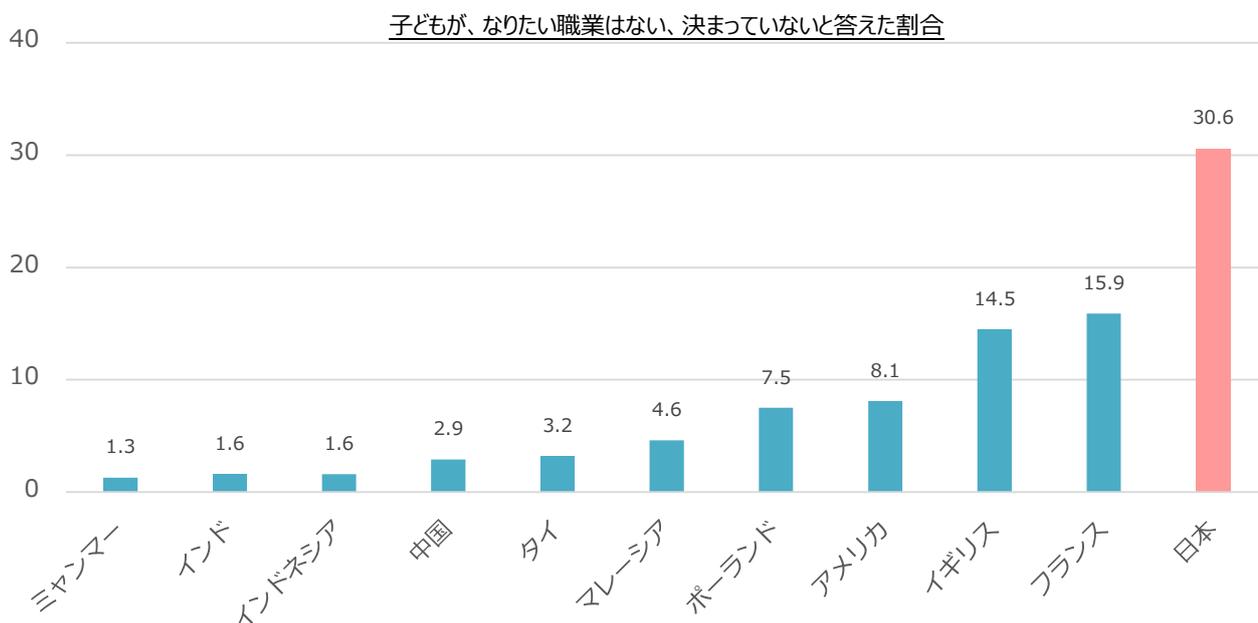
1位 獣医師
2位 医者・看護師
3位 技術者・エンジニア

イギリス

1位 医者・看護師
2位 学校の先生
2位 獣医師

News Release

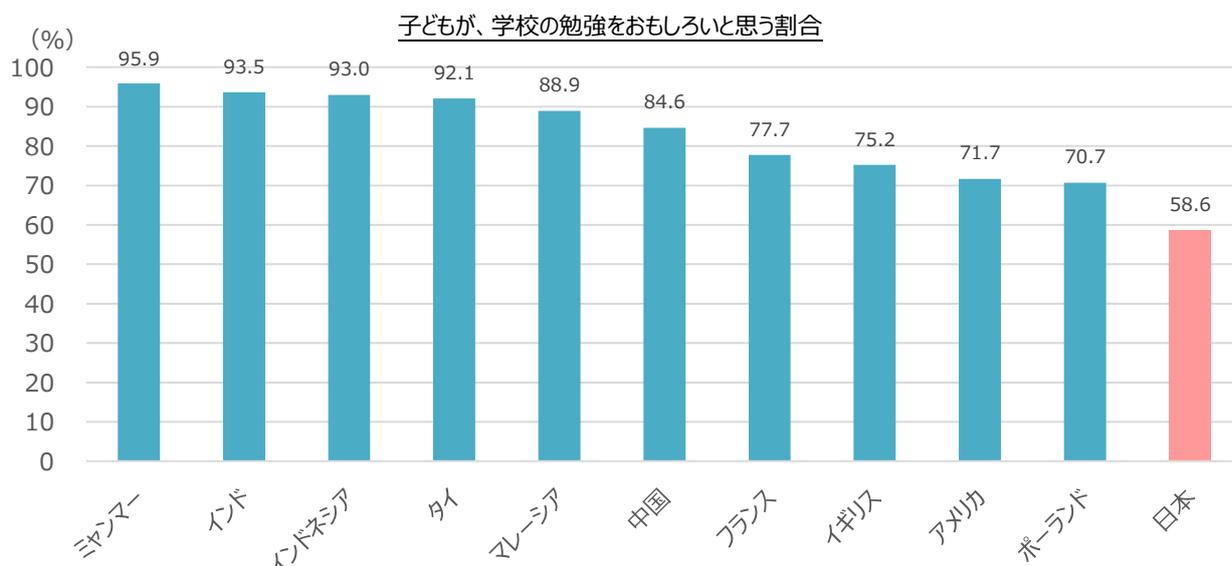
一方で日本の子どもは「なりたい職業がない・決まっていない」と答えている傾向にあり、11カ国中で最も高くなっています。11カ国全体が1割未満であるのに対し、日本では約3割がないと答えており、将来を見据えられる力を身に付けていくことが大切になっています。そのためには、将来について考えるきっかけを与えられるような勉強やコンテンツ・場の提供が必要と考えられます。



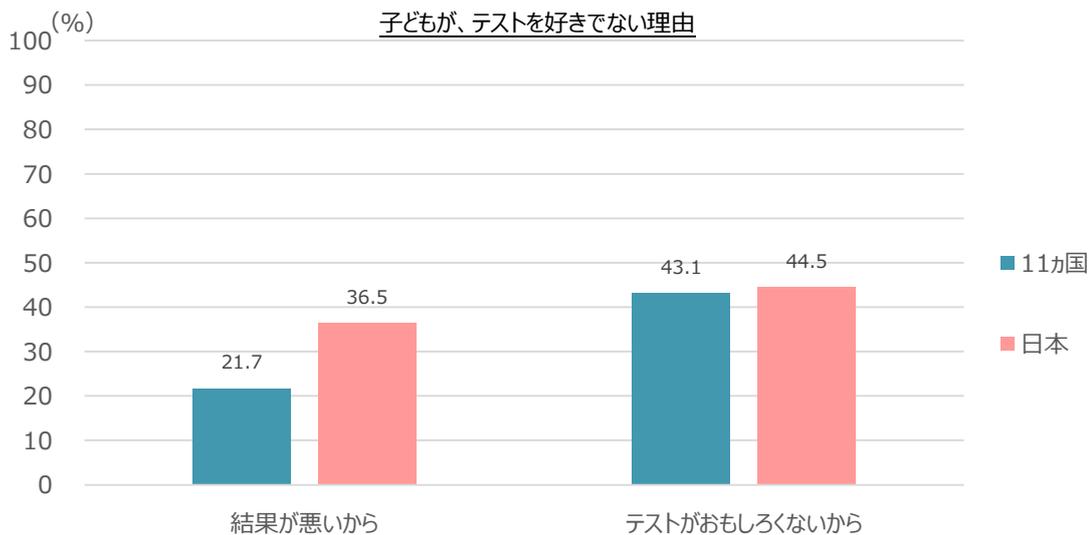
②日本の子どもが勉強をおもしろいと思っているのは約6割未満で、11カ国中最下位

テストを好きではない理由として「結果が悪いから」が11カ国中最も多く、自己肯定感の低さが明らかに

子どもに学校の勉強がおもしろいと思うかを調査したところ、おもしろいと感じている日本の子どもは約6割にとどまり、11カ国中最下位となりました。10位のポーランドも約7割が勉強をおもしろいと感じており、日本の子どもが世界と比べてみても圧倒的に低いことが分かります。



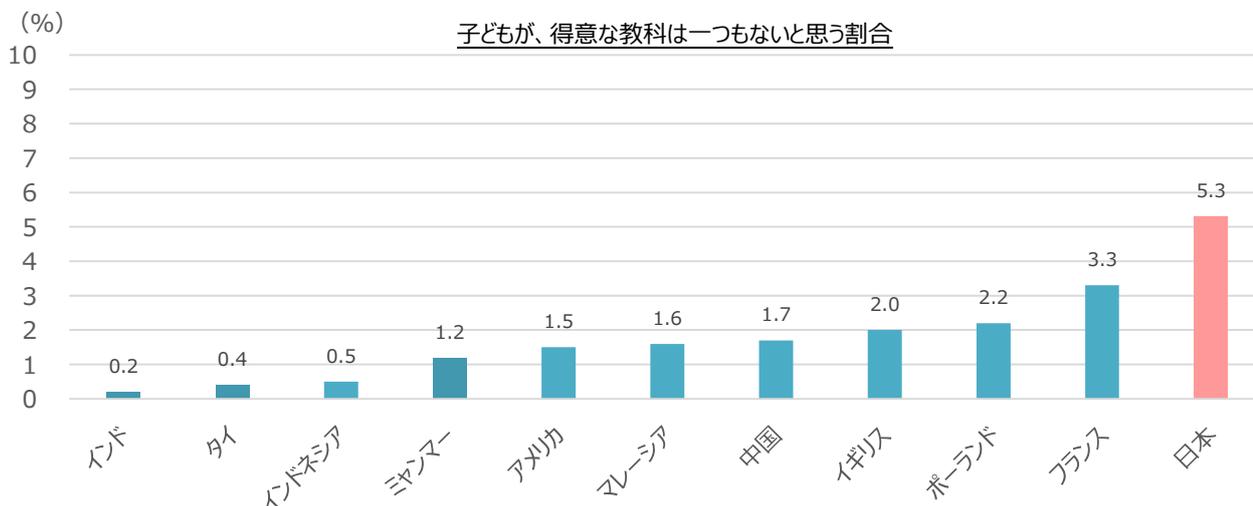
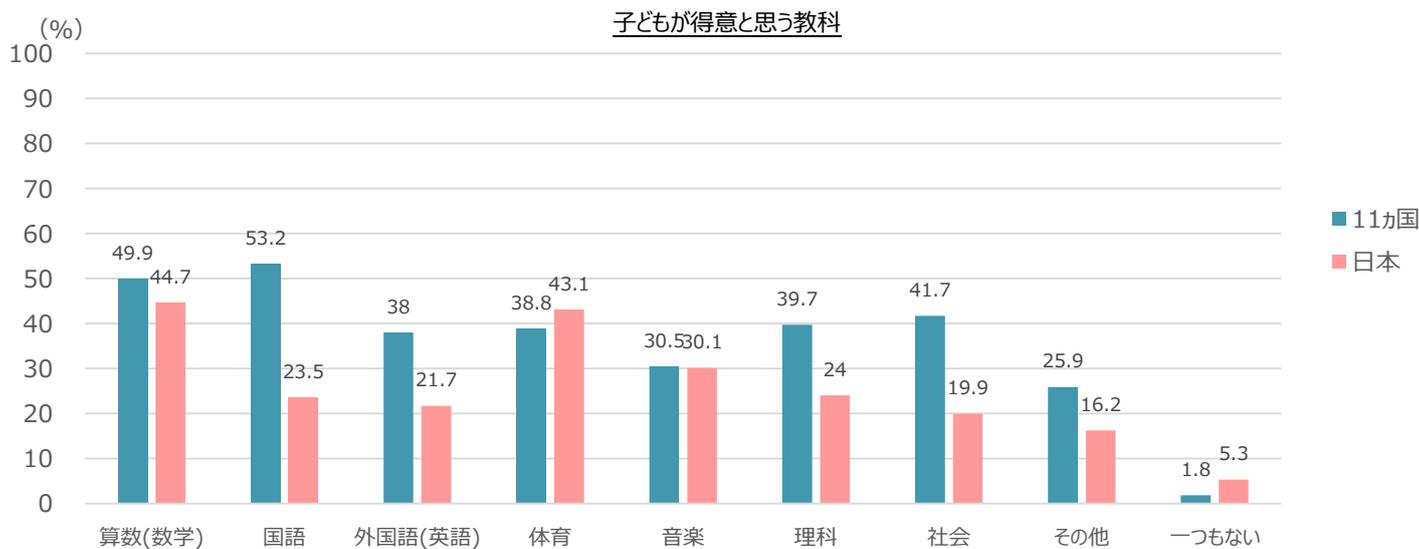
また日本の子どもがテストを好きではない理由として、「結果が悪いから」「テストがおもしろくないから」が多くあがり、11カ国平均よりも上回りました。特に「結果が悪いから」は11カ国中最も多く、学力テスト結果が11カ国中4位である一方で、自己肯定感の低さからテストを好きでないと考えていることが伺えます。



③得意科目が一つもないと答えた日本の子どもの割合が、11カ国中最も高い

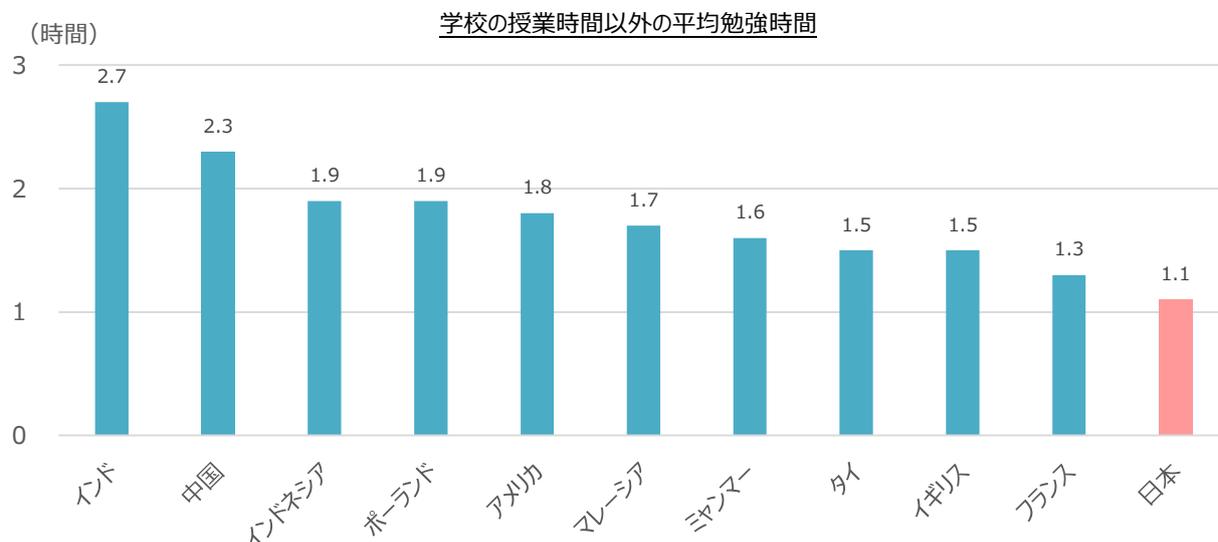
さらに学校外での学習時間は平均 1.1 時間で、11カ国中最下位に

子どもに得意だと思う教科を調査したところ、日本の子どもは体育以外のすべての科目において、11カ国全体よりも低くなりました。特に主要科目である国語、外国語、理科、社会の差が大きくなっています。さらに、得意科目が「一つもない」と答えた日本の子どもが11カ国全体の平均の約3倍となり、11カ国中で最も高い割合となっています。日本の子どもは勉強に対する苦手意識が強いため、得意な科目を作ることで、勉強への意欲を高めることが大切であると伺えます。



News Release

また、学校の授業以外の勉強時間を比較すると、日本の子どもは 11 カ国中最も少ないことが分かりました。学力調査上位のインドや中国が 2 時間以上であることと比べると、日本は約 1 時間しかなく、学外での学習時間が短く、学校での学びに頼っている現状が伺えます。このように、学校のテストがおもしろくなく、得意な科目も少ないうえ、学校以外の勉強時間も少ないという現状が、将来の夢がないことにもつながっていると考えられ、学習塾を始めとした学外での学びの楽しさを得ることが必要と考えられます。



【調査概要】

調査地域：日本・アメリカ・中国・インド・イギリス・フランス・ポーランド・タイ・インドネシア・マレーシア・ミャンマー

調査対象：子ども：6歳～15歳（各国 1,000 名・11 カ国の 11,000 名）

保護者：上記子どもの保護者（各国 1,000 名・11 カ国の 11,000 名）

調査手法：インターネット調査

調査内容：「意識調査」：子ども、保護者を対象に実施した学習に関するアンケート

「学力調査」：子どもを対象に実施した 50 問の計算に関する基礎的なテスト

実施期間：2020 年 8 月～9 月

【スプリックス基礎学力研究所 所長 梅田修平よりコメント】

「将来の夢」が無い子どもは約 3 割にのぼり、調査した 11 カ国中最も高いことが明らかになりました。同時に今回のリサーチ結果で、日本の子どもは「最も自分の学力に自信が無い」「最も勉強をおもしろいと思っていない」「最も得意教科が無い」ことも分かっています。

日本の子ども達に自己肯定感を持たせ、自信をもって勉強に取り組んでもらうことで、自分が望む将来の選択肢を拡げていくためには、すべての土台となる基礎学力を定着させることが重要と考えます。

教育×ICT がゴールではありません。しかしながら、世界ではこの活用が一般化しており、日本の子どもの 2 人に 1 人もタブレット等で「もっと勉強したくなる」と回答しています。生徒一人ひとりに最適化した学習を提供できる ICT のメリットを活かした、効率の良い基礎学力の育成が必要です。



News Release

【スプリックス基礎学力研究所 概要】

スプリックス基礎学力研究所は、「基礎学力」にフォーカスするかたちで、「子どもたちの学力を正しく評価し、着実に定着させること」を目的に創設いたしました。同所は、「基礎学力」を定着させることは、学力向上のスタートラインに立つことであり、それがあってはじめて子どもたちの将来の選択肢が広がって、人生の新たなステージを享受できると考えております。日本のみならず、世界中の子どもたちに「基礎学力」を定着させるべく、研究および開発を進めていくことをミッションとしている研究所です。

名称 : スプリックス基礎学力研究所

代表者 : 所長 梅田 修平

URL : <https://sprix.jp/basri/>

公式 SNS : Twitter <https://twitter.com/SprixBasri> Facebook <https://www.facebook.com/SprixBasri>

【TOFAS (Test of Fundamental Academic Skills) 概要】

基礎学力を「評価」する小中学生向けの国際基礎学力検定。正しく基礎学力を測ることを目的にしており、オンラインの検定のため誰でもどこでも受検が可能です。また、日本以外の子どもたちだけではなく、アメリカを含む世界各国の子どもたちと同じテストを受けられます。

公式 Web サイト : <https://sprix.jp/tofas>



【株式会社スプリックス 概要】

名称 : 株式会社スプリックス

本社 : 東京都豊島区西池袋 1-11-1 メトロポリタンプラザビル 12F

代表者 : 代表取締役社長 常石 博之

URL : <https://sprix.jp/>